

2026年度(令和8年度)保育所における自己評価

清泉ひかり愛育園 (清泉愛育園グループ)

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

評価方法:

(1)全職員へのアンケート実施

(2)アンケート集計をもとに自己評価委員会にて議論及び評価の決定

評価について:

A(大変良い)、B(良い)、C(一部検討を要する)、D(改善を要する)の4段階で評価します。

項目ごとに、意見・改善策を記述します。

	内容	8月評価				意見・対策	3月評価				意見・対策
		A	B	C	D		A	B	C	D	
保育内容に関する評価											
1	保育所の職員らが、すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重していますか？		○			子ども一人ひとりには寄り添って保育を行っている。 新年度の前期の新体制の為、このように評価する。					
2	保育所の職員らが、子どもたちに身体的な苦痛を与えたり、人権をはずかしめたりするなど、精神的苦痛を与えることがないようにしていますか？	○				常に子どもたちの人権尊重を念頭に置き、今後も職員間での日々の言葉掛けや関わり方を振り返り、適切な保育の徹底に心掛けていきたい。					
3	不適切保育（園内で行われる心身における虐待など）が行われないよう、適切な保育が実施できていますか？	○				何が不適切保育（言葉の暴力、威圧的な態度、子どもの尊厳を傷つける行為など）に該当するのか、職員間で共通理解を図るための研修や啓発が定期的に行われている。					
4	個人情報の保護に配慮し、園児やその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか？	○				園として個人情報保護に関する規定やマニュアルが策定されており、遵守している為。					
5	保育所保育指針を読み、参考にして指導計画を作成していますか？		○			書式や形式としての指導計画（年間・月案・週案など）は作成・提出されているものの、職員間で実践の質にばらつきがある。					
6	清泉愛育園の方針を理解し、各園の保育計画をもとに指導計画を作成していますか？		○			園の方針を理解し指導計画の作成に反映されつつある。					
7	各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘うものにものにできていますか？	○				子どもたちの興味や関心、日々の姿に応じて柔軟に保育ができています。					
8	実施した保育について（複数担任の場合は共同して）、職員自ら保育を評価・反省・次の指導計画にいかせていますか？		○			反映されている部分もあるが、活動によっては反省点や改善点が見つかっても具体的に月の計画へ活かされていない部分がある。					
特別な配慮及び健康管理											
9	園児たちの発育・発達状況を把握し、職員全体で情報共有することで、日常の保育にいかせていますか？		○			保育だけに留まらず、各部門・業種での会議やカンファレンスの実行を目指す。					
10	食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと適切な対応をしていますか？	○				前年度より共通認識が深まり、制度や仕組みが定着化してきている。					
11	日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題が疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携をとりながら適切に対応していますか？	○				引き続き園全体で連携を図り、適切に対応している。					
12	特別な配慮がある園児に対して、園内で情報共有をし、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか？	○				11同様					
13	園内の感染症対策、急な怪我などの対応を職員らが理解し、実践できていますか？	○				共通認識として適切かつ迅速な対応が身についている。					

清泉愛育園グループの保育											
14	清泉愛育園グループの保育理念・各園の保育目標を理解し、実現できるような保育計画を立てていますか？		○			グループ園として共通の認識を持ち保育を計画している。特に園行事では具体的な共通項もあり、保育を行っている。					
15	子どもたちの自己肯定感を育む保育をしていますか？（自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れていきますか？）		○			適切な保育を行っているが、『自己肯定感』に対する職員間での認識や評価に差がある。					
16	園全体で「対話」を大切にして、人との対話を楽しむような保育や人の話を最後まで聞けるような指導をきちんと行っていますか？		○			園全体として「子どもとの対話」の充実が理想的だと認識はありながらも、具体的にどのような関わりを指すのか（ただ話を聞くことなのか、思考を深める問かけなのか等）が言語化・共有されていない。					
17	体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか？	○				室内での活動であっても十分に体を動かすことの出来る活動を計画したり環境構成に工夫を加えたりしている。					
18	園の食育方針を理解し、食べ物を大切にする「共食」「植食」を保育内容に取り入れていますか？	○				植育・食育に関しては夏野菜の栽培を通して、世話をしたり収穫した野菜を給食で口にしたり出来るよう活動に取り入れている。					
19	体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか？										
経営・組織運営											
20	能率的・合理的な運営組織になっているか？	○				組織の指揮命令や、各役職・担当（分掌）の役割・責任範囲が明確に文書化（組織図や業務分掌規程など）されている。					
21	職員の配置、係の分担などは適材・適所か？		○			来年度の分掌表作成の際、クラス配置・人数等を考慮して分担を決めている。					
22	各種会計を適正かつ適切に処理しているか？	○				「会計規程」「経理規程」等のルールがしっかりと整備され、実働している。					
23	定期的に個人面談が行われ、人事評価が適切に行われているか？		○			計画はしているものの、次の面談までに進捗確認やフォローアップを行う仕組みが機能していない。					
24	職員の自己評価がきちんとできるように、サポートがなされているか？		○			職員が客観的な視点を持って自己評価を行えるよう、上司が日頃から具体的な事実に基づいてアドバイスをしたり、振り返りのヒントを与えたりする「伴走型の関わり」が不足している点。					
25	自己評価の内容が保育の質向上に反映されているか？		○			職員が客観的な視点を持って自己評価を行えるよう、担当者が日頃から具体的な事実に基づいてアドバイスをしたり、振り返りにまだ課題がある。					
26	保育所の自己評価のために、第三者（専門家・保護者・地域住民）からのフィードバックを受けているか？		○			定期的に運営に関する保護者アンケートを行っている。専門家・地域住民という部分では今後の検討課題である。					
27	各種会議を適切かつ効率的に進めているか？	○				各職種や担当に分けての会議の場を増やしていく。					
28	職員それぞれが全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設運営に関わっているか？		○			全員が意見や提案を発言しやすい環境を作っていく。					
教育・研修制度											
29	保育内容を向上させるため、園内で保育研究・研修がなされているか？		○			グループ園の合同研修でスピーチやプレゼンテーション等の場を作り、個人の保育研究を深めさせていく。					
30	研究・研修の計画、運営は適切に行われているか？		○			今年度から担当クラスでや持ち場での一年間の保育目標を決め、園内研修等で振り返る取り組みを行い始めた。					
31	研究・研修の成果を日常の保育内容にいかせているか？		○			30同様で今年度実施し始めている為、達成しつつある。					
32	外部研修会・講演会などへの参加を積極的に図っているか？		○			31同様					
33	外部研修会・講演会などに参加した場合、内容を園内に還元しているか？		○			31同様					
34	園児や保護者に関する「個人情報」を適切に取り扱っているか？		○			31同様					
情報・設備・施設管理											
35	公文書收受・発送・処理を適切に行なっているか？	○				書類を適切に処理し、また組織全体の透明性、効率性、および法令遵守（コンプライアンス）も常時維持されている。					
36	パソコンやタブレット（各種システムやコードモン）はパスワード設定をし、利用しない時は施錠管理できる場所に保管しているか？	○				個人情報と危機管理の観点から園内の規定のルールが組織全体でしっかりと遵守されている。またタブレットやパソコン等、各種システム全てにおいて、パスワードが設定されている。					

	施設内外の設備の安全点検を計画的に行なっているか？	○				施設内（電気・空調・施錠等）だけでなく、外構や植栽、外壁、防災設備など施設「外」も含めた網羅的なチェックリストが整備され、確認がルーティン化している。								
37	遊具・用具などを活用しやすいように整理・保管しているか？	○				棚やボックス、ロッカーなどに写真で分かりやすいラベル表示し、整理整頓しやすい環境を作っている。								
38	不審者などに対応する周回配慮を行なっているか？	○				年間2回の不審者訓練に加え、園内研修での不審者対応への職員訓練も行っている。ただ職員間で認識の深まりや、捉え方の違いに差異が生じている為、擦り合わせが必要。								
39	開かれた保育所づくり													
40	掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか？	○				園内の各場所（玄関・クラス前・事務所前など）に連絡事項等を掲示している。								
41	他施設との年間交流計画は保育目標や課題に沿ったものになっているか？	○				グループ園間で9月に保育士の交流保育を計画中。また、小学校との連携に向けて、架け橋プロジェクトも計画として引き続き行っている。								
42	他の施設の職員同士が、研修や交流の機会を持って、互いの保育・教育に対して理解を深め相互にアドバイスできるような関係を構築できているか？		○			クラス担任が日常的に行うことは難しいが研修時また職種によっては情報交換等の交流を持つことが出来る。 9月にはグループ園として保育士の交流保育を実施予定。								
43	他の施設と定期的に情報交換をし、それを交流活動に生かしているか？		○			42同様								
44	保育参観日を設定しているか？	○				年間2回計画し、実施している。								
45	保護者を含む地域の人材活用をしているか？		○			園行事等でもっと交流を持てるようにと相談はしているが実施出来ておらず。								
46	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか？	○				津まつりでのおさこい参加や丸ノ内商店街の七夕飾り製作等に参加している。								
47	地域の子育て支援センターとして、園の開放をしているか？				○	支援センターとしては開設していない。								
48	地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか？				○	子育て支援事業として園庭開放等を計画し、実施していく。								
49	職員による「子育て相談」や保護者を対象にした学習の機会を設定できているか？		○			年間2回、保護者懇談会を行い園での様子や成長の姿を伝えたり育児相談を行ったりしている。 学習の場を行事等として設けてはいないが、各自でお便りなどで色々な情報を発信している。								
50	医療機関・児童相談所などの専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供できているか？	○				医療機関（小児科）、児童相談所、発達支援センター、保健センターなど、様々な専門機関と定期的かつ継続的な連絡・連携体制が確立している。								
51	保育所の情報を発信しているか？(お便り・ホームページ・SNSなど)	○				園の理念、保育方針、年間行事、日々の活動内容などが、ホームページやSNS、パンフレットなどを通じて、保護者や地域住民に分かりやすく開示されている。								
	外部評価													
52	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか？				○	今後実施予定。								
53	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか？	○				反映できるよう努めている。								